

サイト内検索

観たいコーナーを選択してください ▼

[セミナーコード:20060709]

内外の環境変化が激しい中、これからの技術者・研究開発者は、専門性を高めることはもちろん、技術の複雑化、市場の急速な変化等の様々な問題への対応が要求される！！

本セミナーでは、ソニー(株)・富士ゼロックス(株)において実務の第一線でご活躍され、豊富な経験をお持ちの粕谷講師に、これからの技術者・研究開発者の成功への条件・能力の高め方を始め、自己診断により、目指す方向を定めるキャリアデザインの描き方、又、具体的な仕事の進め方・成果の出し方に至るまで、詳しく解説頂きます。

技術者・研究開発者のレベルアップ・能力開発

講師

富士ゼロックス(株)
技術教育センター マネージャー
山口大学 非常勤講師
技術士(総合技術監理部門、機械部門)
キャリアカウンセラー(CDA)

粕谷茂 氏

< 講師紹介 >

1973年、ソニー(株)入社。電動車椅子などの福祉機器の開発。ウォークマンなどのAV用モータの巻線技術および生産設計・生産システム設計。CRTおよび電子銃の設備開発。基板実装技術、電子部品挿入・装着・検査装置、産業用ロボットの応用技術開発。半導体生産設備、パッケージ技術、生産システムなどの開発業務に従事。又、それと併行して、国内外の電子部品・半導体材料・半導体メーカーへの技術開発コンサルティング活動および教育担当代表者として活躍。1991年、富士ゼロックス(株)入社。複写機・プリンター用生産システム開発に従事。又、人材開発(コンピテンシー・マネジメント・システム構築、専門職制度構築など)、経営品質推進活動、キャリア相談員(CDA)、創造性開発手法(TRIZ)の推進など、人材開発戦略立案、講座の企画運営(創造性開発手法をライフプランに応用した日本初「キャリアデザイン」講座の開発等)に活躍中。

< 著書 >

「プロエンジニア」(テクノ、2002年)、「TRIZ実践と効用(1)体系的技術革新」(SKI、2004年)、「図解これで使えるTRIZ/USIT」(JMAM、2006年)。

日時

2006年 7月 4日(火) 10:00～16:00

会場東京・新お茶の水・総評会館 4F・402室 [\)\) 会場地図はこちら \(\(](#)

急ぎのご連絡は(株)技術情報センター(TEL06-6358-0141)まで！！

| | |
|------------|---|
| 受講料 | 49,980円(1名につき) テキスト代、昼食代、喫茶代、消費税分2,380円を含む |
| 主催 | (株)技術情報センター |

プログラム

- ・ **はじめに**
 1. 環境変化時代の落とし穴
 2. 技術者・研究開発者の悩み
- ・ **これからの技術者・研究開発者の成功への条件と求められる能力とは
～今、何が必要か？何を求められているか？何をしなければいけないのか？～**
 1. 技術者・研究開発者の求められる基本的資質
 - (1) 技術力とは
 - (2) 求められる人材像
 - (3) 重要な価値観
 - (4) 求められる基本的能力
 2. 技術者・研究開発者の成功への条件
 - (1) プロフェッショナルとは
 - (2) プロフェッショナルに必要なコンピテンシーとは(ワークショップA)
 - (3) 今、必要な倫理観
 - (4) プロフェッショナルに求められる能力
 3. プロフェッショナルの評価
 - (1) あなたの仕事の市場価値はいくらか
 - (2) 能力資産のB/S評価
 - (3) 実績評価とCPD(キャリア・プロフェッショナル・ディベロップメント)
 4. 技術者・研究開発者に必要な能力とその高め方
 - (1) コミュニケーション力
 - (2) マーケティング力
 - (3) システム思考
 - (4) 創造性(TRIZによる創造性開発)
 - (5) 技術の評価力
 - (6) コーディネイト力
- ・ **技術者・研究開発者にとってのキャリアデザイン**
 1. キャリアとは
 - (1) 自分自身のマーケティング
 - (2) ライフキャリアの考え方
 - (3) ライフロール(ワークショップB)
 2. キャリアデザインのアプローチ法
 - (1) 過去からのアプローチ(自分史からのアプローチ:ワークショップC)
 - (2) 未来からのアプローチ(何のために働くのかからのアプローチ)
 3. 価値観をセルフアセスメントしてみると(ワークショップD)

4. プロフェッショナルのキャリアパス

・ **技術者・研究開発者の仕事の進め方と成果の出し方**

1. 仕事を進める上での考え方

- (1) 潜在するシーズ・ニーズをいかに先取りするか
～自己満足の研究から儲かる研究へ～
- (2) 製品開発におけるユーザーの視点とは
～コストと環境問題はトレードオフとなっていないか？～
- (3) 開発効率を高めるには

2. 仕事の進め方

- (1) 長期的視野(ビジョン、大局観)に基づく具体的プランの立て方
- (2) 仕事の優先順位の決め方
- (3) 仮説と検証のポイント
- (4) 情報力の強化法
- (5) 自己管理のポイント

3. 仕事を効率化するためのポイント

- (1) スピードアップのポイント
- (2) 発表・報告・説明の仕方とそのポイント
- (3) 対人関係とコミュニケーションのあり方

4. 成果の高め方

- (1) 仕事の成果とは
- (2) 研究開発結果を成果にするには

・ **質疑応答**

- 名刺交換会 -

セミナー終了後、ご希望の方はお残り頂き、参加者間での名刺交換会を実施させていただきます。

【術者者 研究開発者 レベルアップ 能力開発 セミナー】

お申し込み

お問い合わせ

お申し込み画面が開かない場合は、**「seminar entry.pdf」**をダウンロードして頂き、プリントアウトした物に必要な事項をご記入の上、FAXにてご送信下さいませ。

PDF形式のファイルをご覧頂くには、アドビ システムズ社から無償提供されている**「Adobe Reader」**が必要です。

お問い合わせの前に『よくあるご質問(FAQ)』をご一読下さいませ

書籍・調査資料、出版物のご案内はこちらでございます

前のページへ

ホームへ